

日本共産党 区議会議員



石田ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2021年4月25日
ちひろニュースNo.79

「生理の貧困」対策求め 実現！ 品川区が 生理用品の無料配布を実施

3月に行われた品川区議会予算委員会で、共産党は、「生理の貧困」を取り上げ、生理用品の無料配布や、小中学校のトイレに生理用品の配備を求めました。早速、4月から実施が決まり、区内施設で希望者に無料配布されます。小中学校のトイレへの配備も実現しました。

「生理の貧困」とは

NHKで若者グループ『#みんなの生理』がとったアンケートの結果が報道されました。金銭的理由で生理用品の入手に苦労した若者が20.1%と、諸外国と同様「生理の貧困」が日本にも存在することが明らかになりました。「食費を確保するのに精一杯で生理用品が買えずに他のもので代用せざるを得ない」と深刻な状況が報じられました。

「コロナ禍で、収入減となる中、問題はさらに深刻化しています。」

区として生理用品の無料提供を求める

予算委員会で共産党の鈴木ひろ子区議が、「こうした実態を取り上げ、「生理は誰もが安全で健康に過ごす事ができる人権問題」とらえ対応

すべき。区として生理用品の無料提供に踏み出していたいただきたい。」と求めました。

子育て応援課長は「全国的、世界的な問題になっていると認識している。必要な人に必要な支援が届けられるよう研究したい」と答弁しました。

小中学校のトイレに 生理用品の常備を

さらに教育費では、私(石田ちひろ)が「生理は生命を育む重要な機能なのだ」と男女共に学ぶことで、お互いを大事にしあえる関係が生まれる。小中学校のトイレに生理用品をおいていたいただきたい」と求めました。教育センター長は「区でできることを検討していきたい」と答弁しま

配布物品と方法

- ①区内施設・窓口
 - ・生理用品（昼用・夜用各1パックで1セット）
- ②区立学校
 - ・生理用品(昼用 個包装にしてトイレに設置)

配布場所(上記のセットが各施設20セット。無くなり次第終了)

- ・各地域センター・支え愛ほっとステーション
- ・生活福祉課(暮らし・しごと応援センター)
- ・子育て応援課
- ・子ども家庭支援センター
- ・男女共同参画センター
- ・保健センター
- ・社会福祉協議会
- ・区立学校トイレ



※窓口にある「優しさをかたちに」カードを渡すだけ。声に出さなくても受け取ることができ

ます。安心して生理の期間を過ごす。安心して生理の期間を過ごす。安心して生理の期間を過ごす。

早速実現！
さらなる充実を求めます
 こうした求めに対し、品川区は、女性職員によるプロジェクトチームを充足し、必要とする人が気軽に生理用品を受け取れる方法など検討し、4月6日から区内施設での無料配布実施を発表。区立学校(4年生)のトイレにも設置されることになりました。早速の実現を歓迎します。

を活用するため、在庫が無くなり次第終了とのこと。区はこのプロジェクトを「優しさをかたちにプロジェクト」として、コロナ禍における女性の負担軽減を図ることを実施方針としています。

女性の貧困・生理の貧困は、コロナ感染が起きる前から問題となっていました。女性の負担軽減と合わせ、ジェンダー平等や人権保障として、引き続き、無料で配布できるように努めます。

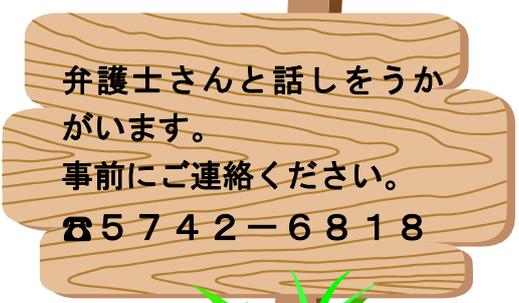


無料法律相談

とき：5月21日(金)

時間：18:00~

場所：石田ちひろ事務所



日本共産党品川区委員会主催